

## 令和7年度第1回社会教育委員会議 要点録

日 時：令和7年11月11日 午後2時から午後3時まで

場 所：摂津市立コミュニティプラザ 会議室1

出席者：委員7名、事務局5名（生涯学習課職員2名、文化スポーツ課職員3名）

### 案件

- (1) 令和8年度社会教育関係団体補助金額一覧（案）
- (2) 第2次教育振興計画（案）

- (1) 令和8年度社会教育関係団体補助金額一覧（案）の確認

（事務局）令和8年度社会教育関係団体への補助金は、スポーツ少年団本部補助金以外は、前年同額で12団体への補助金を予算計上している。スポーツ少年団本部補助金は、1団体が退会のため前年度予算額より減少している。

（委員）PTAや子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトの活動が減少していると聞くが、摂津市での状況はどうなっているのか。

（事務局）活動については縮小傾向にあるが、熱心に活動いただいている方多くいらっしゃる。イベントを実施される団体も多いため、活動に補助を行う形で支援を継続していきたい。

- (2) 第2次教育振興計画（案）

（事務局）第2次教育振興計画（案）について、生涯学習課から説明。

（委員）外国人の教育について、横串が通されていないと考える。教育の現場でも外国人の世帯は増えてくると考える。言語については、外国人の子は学校などのコミュニティで学んでいくが、外国人の親は日本語を使わないコミュニティで過ごし、日本語が上達していくかないときがある。図書に触れやすい環境があれば、そのようなこともなくなっていくと考える。摂津市として外国人の方をどのように支援するのかを考えながら、施策に取り組んでほしい。

（事務局）公民館では分野ごとの講座を実施している。外国人の家族が参加できるようなイベントについて検討していきたい。

（委員）電子図書については、書籍数が少ないと感じるが、今後どのように取り組んでいくのか。

（事務局）電子図書については、図書館に来て本に触れるきっかけとなることを期待している。電子図書については、書籍数を増やす取り組みを継続して考えていく。

（委員）読書について興味をもってもらうために、学校の先生や地域の大人に良かった本や良かった文章を共有する取り組みはよいのではないか。周りの大人が本を読んでいなければ子どもに読む環境づくりは難しいと考える。

（事務局）他自治体や民間企業の読書のきっかけとなる取り組みを調査しながら、施策を検討していく。

以上